

こんな活動です

「未来創造」持続可能な社会を目指し行動する生徒の育成 ～五者連携の構築～

熊本県菊池市	●活動名	●関係する学校名
	菊池市立菊池南中学校地域学校協働活動	菊池市立菊池南中学校

協働活動開始年度	令和元年度	学校運営協議会	指定・設置日	令和2年4月1日設置	地域学校協働本部	有
活動区分	学校支援活動	地域課題解決学習	地域人材育成			
	地域未来塾	—				
統括的な地域学校協働活動推進員等の数	配置人数	地域学校協働活動推進員等の数	配置人数			
	1人	1人	1人			
ボランティアの数	延べ登録人数	企業・NPO等との連携	有	ICT機器活用	有	
	208人					
参考URL	https://www.city.kikuchi.lg.jp/school/kikuchiminami-jhs/					



●連絡先	菊池市立菊池南中学校	☎ 0968-25-2239
------	------------	----------------

●活動の概要・経緯

学校教育目標「生きる力を培い、未来を創造する生徒の育成」のもと、「SDGsの視点を踏まえた持続可能な社会を目指し行動する生徒の育成」を目指し、学校、家庭、生徒会、地域、行政の「五者」がその目標とビジョンを共有し、連携・協働する取組。生徒主体による「地域貢献活動」や行政や地元企業と連携した「地域人材の育成」を中心に様々な活動を行うとともに、地域学校協働活動推進員の役割の明確化と、体制の整備に取り組んでいる。

本校では、令和元年度から国立教育政策研究所の指定による「ESD」に取り組むとともに、菊池市教育委員会により地域学校協働活動推進員の配置と地域学校協働本部の整備が行われた。また、本年度から学校運営協議会を設置し、地域学校協働活動との一体的な推進に取り組んでいる。

●活動の特徴・工夫

【地域学校協働活動としての特徴的な取組】

- 地域活動委員会による取組・・・菊池市のことを知り、菊池市の未来を考え、菊池市と学校をつなぎ、菊池市のために動く委員会活動。生徒たちが地域住民に直接聞き取り調査を行い、課題を整理し、地域の様々な企業や団体との交流を通して、地域のためにできることを考えた。地域のイベント(菊まつり)におけるボランティアガイド(観光案内)などを実施した。
- 高齢者サポート事業の取組・・・3年生全員による「地域貢献活動」において、高齢者世帯に生徒が訪問し、草取りや窓ふき等の清掃活動を行った。地域の高齢者と中学生との交流の場となっている。
- 地域人材の活用・・・地域人材との連携を図り、ゲストティーチャーや講師として授業に招き、生徒の思考力・判断力・表現力を高める学習を行った。

【実施に当たっての工夫】

地域学校協働活動推進員の役割を明確化した。目標を「五者」で共有できるように連携・協働の要として、地域人材の登用や地元企業との連絡調整、高齢者世帯の受け入れ先の交渉など、全て地域学校協働活動推進員がコーディネートするとともに、本部機能であるネットワーク化も図った。「地域の持ち味を発見し、活かすこと」「特別で、大きなことではなく、できることをこつこつと」を心がけた。

【関係機関・団体等との連携状況】

学校運営協議会の委員に地域学校協働活動推進員も位置付け一体的な推進を図っている。学校運営協議会では、地元企業連、JA、区長会、商工会、国際交流会協会、PTA役員の代表等も委員として参加し、さまざまな活動の報告や検証を行い、取組の改善を図るなど、PDCAサイクルも大切にしている。地域の持ち味を発見し、活かす場にもつながっている。

●地域学校協働活動を実施しての効果・成果

- 地域の課題解決に目を向けた探究的な活動サイクルを展開することで、ふるさとに目を向け社会に貢献しようとする生徒の姿が見られるようになり、地域人材の育成にもつながっている。
- 活動の成果を報告する機会を設けることで、「コミュニケーション力」「他者と協力する態度」の育成につながっている。
- 地域人材や地元企業、各種団体の発掘、交渉、連絡調整など、地域学校協働活動推進員の役割を明確化し、併せて学校の地域連携担当者と協力したことで、教員の負担軽減につながり、子供にとってスムーズで効果的な学習となった。
- 学校と地域が目標とビジョンを共有し、地域全体で「未来の創り手」の成長を支えることを共通認識する良い機会となった。

●その他

JA菊池や菊池観光協会、その他、多くの企業と連携して活動した。職場体験学習では、48の事業所と連携した。また、学習成果発表会では、学んだことをわかりやすく伝えるために、ICTの効果的な活用を意識した。



実施ー地域ボランティア「菊まつりガイド」でを



の地域住民への聞き取り調査